令和４年度全国高等学校総合体育大会京都府予選　兼
第69回近畿高校バスケットボール大会京都府予選

個人トータル表

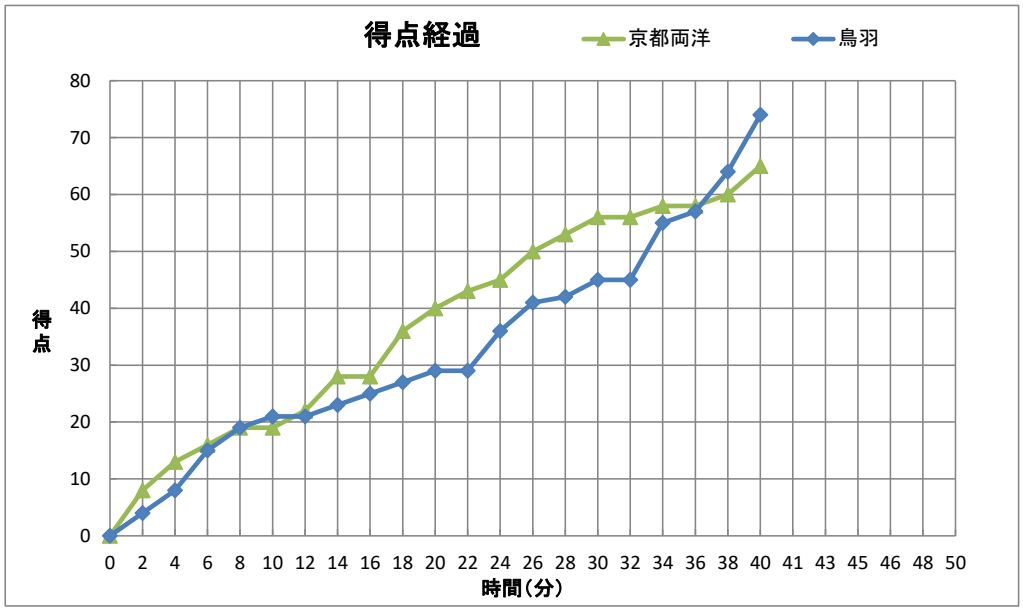
男　子　　5月29日　　11:15　開始

決勝リーグ　　山城総合運動公園体育館　　A

京都両洋	65	19	1st	21	74	◎ 鳥羽
		21	2nd	8		
		16	3rd	16		
		9	4th	29		

番号	氏　名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏　名	得点	3P	2P	FT	反則
＊ 4	谷　哲平	2	0	1	0	4	0	能勢　陽	2	0	0	2	0
＊ 5	田村　留樹哉	14	2	4	0	2	2	坂本　立輝	−	−	−	−	−
6	仲野　政真	−	−	−	−	−	＊ 3	北山　裕太	8	0	3	2	4
＊ 7	森川　綾哉	24	6	3	0	5	＊ 12	倉橋　輝	29	0	10	9	4
＊ 8	齋藤　連人	0	0	0	0	4	14	松浦　伶歩	0	0	0	0	0
9	山岡　青登	2	0	1	0	3	16	豊福　倖大	−	−	−	−	−
10	髙橋　慈央	−	−	−	−	−	＊ 18	石田　隼大	3	1	0	0	1
＊ 11	森　弥月	14	0	6	2	4	29	福島　耕平	−	−	−	−	−
12	所　龍之介	9	3	0	0	2	36	奥村　将吾	10	0	3	4	0
13	福井　鉄士	−	−	−	−	−	21	鬼塚　彩叶	−	−	−	−	−
14	小川　凌来	0	0	0	0	0	38	福瀧　光	−	−	−	−	−
15	中野　京葵	−	−	−	−	−	58	吉永　熙龍	−	−	−	−	−
16	伊藤　秀将	−	−	−	−	−	77	和田　竜之介	−	−	−	−	−
17	福田　義康	0	0	0	0	0	＊ 88	定影　正大	11	0	2	7	2
18	越智　駿斗	−	−	−	−	−	＊ 92	半田　桃志郎	11	0	4	3	2
ｺｰﾁ	瀬戸山　京介					0	ｺｰﾁ	福嶋　一夫					0
Aｺｰﾁ	濱頭　連太郎						Aｺｰﾁ	山下　龍之介					
合　計		65	11	15	2	24	合　計		74	1	22	27	13

主審:　赤井　正史
副審:　片山　峻
副審:　髙橋　竜太朗



CTO	1･2P		3･4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	32:56	37:55	39:28	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:	:	:	:

〔 戦　評 〕

決勝リーグ第３戦。両洋は＃７の３Pで先制すると続くオフェンスでも＃７が３Pを沈め機先を制する。しかし鳥羽も＃１８がすぐさま３Pを返す。両洋は＃４、＃１１が続けて速攻でテンポよく得点していく。対する鳥羽は、ハーフコートのオフェンスでインサイドを繰り返しアタックし＃９２・＃１２のドライブ、＃８８のゴール下で得点する。両洋は得点がとまりそうになるタイミングで２度、＃１２が３Pを決める。第１Q終了１９－２１で鳥羽のリード。

両洋は第２Qも＃７の３Pで先制し、＃５の速攻、＃９のドライブ、＃１２の速攻がバスケットカウントとなり、流れは両洋へ。鳥羽は＃８８のゴール下、＃１２のドライブで応戦するもこのQで８点と得点が止まってしまう。両洋は＃５の３P・速攻、＃７のドライブで加点し、４０－２９で両洋がリードし、前半を終える。

後半、両洋は＃７の３Pでまたしても先制、＃１１のドライブも決まり１６点にリードを広げる。何とかきっかけを探る鳥羽は１-２-２のゾーンから、ハーフコートでトラップを仕掛け、＃３のジャンプシュート、＃１２のゴール下でよいリズムを作り始める。両洋はリズムを失いながらも、＃１１がリバウンドシュートをねじ込み粘るが、ターンオーバーなどから鳥羽の速攻に対し、ファウルがかさみフリースローで加点を許す。鳥羽はフリースローが効率よく入っていかず、両洋はその隙に＃１２・＃５が３Pを決め、４４－５６で両洋リード。

第４Q、鳥羽＃１２がリバウンドシュートで先制、＃３のカットプレーで点差をつめる。両洋は３分で２得点とゾーンに対して得点が伸びず、タイムアウト。鳥羽はタイムアウト後に２-２-１のゾーンプレスでさらに仕掛け＃３６のドライブ、＃９２・＃８８の速攻からのフリースローで逆転に成功。すぐさま両洋＃７が返すものの鳥羽の流れは変わらず＃１２が速攻を含めドライブで積極的にアタックし得点し点差を広げ、６５－７４で鳥羽の勝利。

戦評:　同志社国際高校　木村　励　　記録:　東宇治高校　本田　英嗣